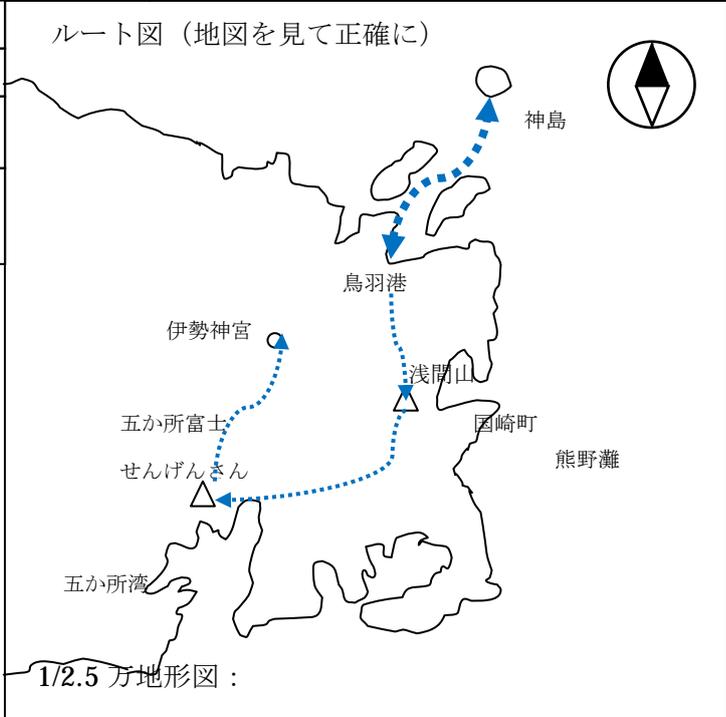


|  |            |     |                    |            |                          |
|--|------------|-----|--------------------|------------|--------------------------|
| 12月度 <sup>例会</sup> <sub>個人</sub> 山行報告書 |            | 報告者 | 油井 武               | 参加<br>メンバー | CL:塚本英吾<br>SL:青山武<br>油井武 |
|  |            | 報告日 | 12/22              |            |                          |
| 山城                                     | 三重県伊勢・志摩   | 山行日 | *2012/12/11 (火) ~  |            |                          |
| 山名                                     | ふるさと富士・三山  |     | 2012/12/12(水)      |            |                          |
| 山行目的                                   | ふるさと富士を楽しむ |     | コースタイム (天候: 天気図記号) |            |                          |

配布先  
総会参加数  
山行: 1  
リーダー  
原紙:  
会事務局



\*12/11 日 晴れ  
刈谷発 4:00~御在所SA発 5:20~鳥羽着 6:50  
鳥羽港発 7:40~神島着 8:25~神島山頂 9:25  
観的哨 9:45~小中学校~港 10:45  
神島発 11:35~鳥羽港着 12:15~パールロードを経て  
国崎町 13:00~小富士山 (浅間山) 頂上 13:45  
鎧岬 2:30~五か所湾の宿海晴着 15:15

\*12/12 日 晴れ  
宿海晴発 8:30~五か所富士山登山口 9:12  
登山開始 9:20~五か所富士 (せんげんさん) 頂 9:50  
休憩~下山 10:45~浅間山発 11:10~伊勢神宮着 12:10  
伊勢神宮参拝 13:45  
伊勢神宮発 13:45~  
刈谷着 17:30

〈山行報告〉ふるさと富士を訪ねる会に初めて参加させてもらった。今回は、伊勢志摩地方の内、三か所で一泊二日の旅である。12月11日、刈谷を4時に出発したのは、鳥羽港7時40分発の神島行き定期船にのるためである。出発にあたって、青山氏から手渡されたのは、今回登る三つのふるさと富士に関する、地図と資料と一冊の小説本、三島由紀夫の“潮騒”であった。神島は小説潮騒の舞台となっているが、故郷富士の一つとは知らなかった。鳥羽港待合室は島からの高校生でいっぱい、学校へ行くためのバスを待っていると云っていた。鳥羽港から神島まで約40分、前日の強い風の名残りもあって、白い波がしらがたっていたが、双胴船であるので、揺れはさほど強くはなかった。島に上がって、土地の古老に道を訪ね、民家の間を抜け山道を登る。10分ほどで神社に出た。そこでは神社役の人5~6人が掃除をしながら、焚き火を囲み、祈年祭の準備をしていた。少し暖まって行きなよ、と言われたので、神社のいわれなどに、耳を傾け、火に手をかざした。焚き火とも別れ、しばらく行くと灯台があり、日本百名灯台を訪ねる老夫婦と出会い写真を撮り合った。頂上から渥美半島の山々がよく晴れ渡った空のもとに輝いて見えた。対岸の伊良湖崎との間が手の届くような感じがして、狭い海峡を大型船が太平洋に向かって進んでいく。小説“潮騒”にも出てくる観的哨の前で小休憩のあと、学校のある岬へと向かう。校庭も校舎も静かで廃校かと思われたが、あとで、土地のお婆ちゃんに聞いて見ると生徒7人で、先生のぼうが多いとのこと。港へ出てまた船の人となり鳥羽港へ向かった。鳥羽から次の訪問地国崎町へ車で移動。王地のお婆ちゃんのお案内で浅

間山麓につく。早速今日二つ目の故郷富士=浅間山にのぼる。登り約30分で頂上。熊野灘が一望でき素晴らしい眺めであった。宿は海晴で魚は新鮮でとびきりおいしい。翌日は朝から快晴、車で15分五か所富士の麓に着く。形の実にきれいな故郷富士でこちらも“せんげんさん”の看板があり30分の登り。頂上では五か所湾を見ながら、たっぷり休んだ。帰りは伊勢神宮に参拝し旅の無事を祈った。

《フリースペース》

〈リーダー所見〉両日とも穏やかな快晴に恵まれ、道も判り易く歩きやすかったので、ゆったりと時間をかけて歩くことができました。また土地の古老とも話す機会に恵まれて、余裕のある素晴らしい山旅をすることができました。また帰りには、伊勢神宮へお参りし一年の無事な登山のお礼と、来る年の安全登山を祈念し赤福餅のお土産を仕入れ帰途に就きました。なお、今回も全運転で締めくくることができましたのは、関係者のサポートのお陰と感謝いたします。

確認  
(リーダー)  
塚  
12/31  
本  
作成  
(報告者)  
油  
12/31  
井